



杉谷 洋一 議員

災害の対応は？

町長

早めの避難を
呼びかける

【杉谷】町民が安心・安全に暮らせるため、大規模災害に対する取り組みが必要である。自主防災組織の現況は。



土砂災害を想定した防災訓練

【町長】108集落が組織化している。さらに、区長会や広報活動を通じて増やしたい。

【杉谷】避難用の水害・土砂災害マップは。

【町長】県では、現行マップの見直しが進められており、本町もその見直しにあわせて、さらに充実させる。

【杉谷】非常食などの備蓄や分散化は。

【町長】町の備蓄のほか、民間団体・他の自治体との災害協定により対

応している。

また、分散化は、まちづくり地区会議と検討する。

【杉谷】大雨特別警戒が発せられたときの対応は。

【町長】通常の災害時と同様に、防災無線で住民に早めの避難を呼びかける。

【杉谷】河川の雑木の除伐対策は。

【町長】二級河川は、県に毎年除伐を要望している。

磯焼け対策は？

町長

資源豊かな

海づくりを進める

【杉谷】海の砂漠化現象である磯焼けが発生し、ワカメなどの海藻の生育が悪く、サザエ・アワビなどの漁獲量が減少している。いったん発生すると藻場の回復に長い年月を要する。早期の対策が必要ではないか。

【町長】今年度から3年計画で国の支援を受け、各漁協が、藻場造成の取り組みを実施している。町としても関係機関と連携し、資源豊かな海づくりを推進する。

【杉谷】小学校とPTAあるいは地域が一緒になって、藻場の再生・保全活動に取り組んで

きているところもあるが。

【教育委員長】海岸の清掃活動は行っているが、

藻場の再生や保全活動は行っていない。



磯焼けが心配される海岸